



# ＊給食だより＊

渋谷区立富谷小学校  
令和4年度 7月号

近年、猛暑日が増えて最高気温が35℃以上の日が続いたり、ゲリラ豪雨が増えて一気に気温が下がったりするなど、すごしにくくなっています。体温を調節するだけでも体力を消耗するので、無理をせずにすごしましょう。



## その食生活、夏ばての原因になっています



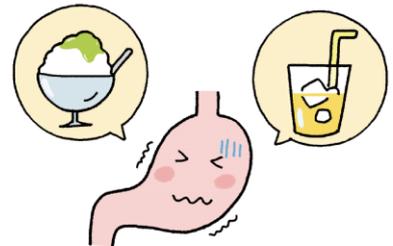
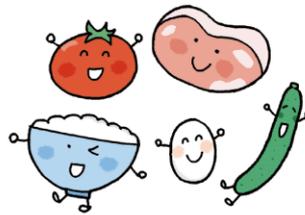
夏に起こりやすい体調不良のことを夏ばてといえます。夏の暑さの影響で胃腸の働きが鈍くなって食欲が低下し、体がだるくなったり、無気力状態になったりします。冷たいものの過剰摂取は、胃腸の働きを鈍らせて夏ばての症状を悪化させるといわれています。冷たいものとりすぎに気をつけましょう。

## 夏ばて予防のポイント

こまめに水分補給を！

バランスのよい食事！

冷たいものとりすぎ注意！



普段の水分補給は水か麦茶を、大量に汗をかく時は塩分と一緒に補給しましょう。カフェインが入っているものは、覚醒・利尿作用があるので避けましょう。

食べやすいめん類などばかり食べていると栄養が偏ります。栄養バランスよくいろいろな食品を工夫して食べましょう。

冷たいものばかりだと胃腸が冷えて消化機能が低下し、食欲が落ちてしまいます。常温のものや温かいものとりましょう。

今月の給食目標は

正しい姿勢 じょうずな食べ方

です。